



学校経営APの取組を推進するために 学力向上担当者の取組例を紹介します！

次年度の学校経営アクションプラン（AP）の取組〔「知」に関する項目〕をさらに充実させるためには、学力向上担当者が責任感をもって、組織的な取組の推進を行うことが大切です。今号では、学力向上担当者が中心となって行う内容を紹介しますので、各校における取組の参考にしてください。

校長先生に提示した資料では、取組の質を高めるためには、

「全教職員でバクトルを揃えること」「教職員個々が課題を『ジブンゴト』として捉えること」が大切だと示しています。



取組の「質」を高めるためには・・・

- 「学校の現状」を踏まえ、「目指す姿」との差である【課題】を明確にした上で共有し、全教職員で課題対応・解決に向けた**バクトルを揃え、組織的に課題解決を図る体制**をより強固なものにする。
- 課題を解決するための【重点的取組】を推進するに当たり、ミドルリーダーたる主任等に責任感をもたせ、教職員個々に**課題を「ジブンゴト」として捉えた実践を積み重ねる**ことで、組織的な取組の推進と個々の力量向上を図る。

義務教育課作成資料「令和3年度学校経営アクションプラン作成に当たって」より

学力向上担当者が年間を通して行う内容

- 各種調査結果の分析を中心となって行い、**取組の成果検証と改善策の提案を行う。**
- 取組の**進捗状況を定期的にチェック**し、職員会議や校内研修等の場で、全員で共有を図る。
- 取組について、**工夫や好事例、児童生徒の変容などを通信等で紹介する。**
- 重点的取組に対する**悩みや相談を聴く。**



研究主任や生徒指導主事等とも**コラボ**（協力・連携など）するとともに、上記の内容を学力向上担当者だけで行うのではなく、**他の教職員を巻き込み、協力して行う**ことが大切です。

もう一押し！

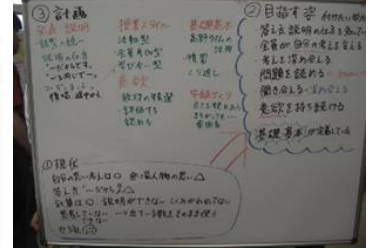


＜例：コラボする際の視点＞

- 研究主任：公開授業の提案内容や授業研究テーマと学力向上の取組との関連付け。
 - 生徒指導主事：授業規律の徹底や自己肯定感向上の取組と学力向上の取組との関連付け。
 - 学年主任：学力向上に関する各学年の成果検証や改善策への助言。
 - 児童(生徒)会担当：児童生徒の自主的な取組と学力向上の取組との関連付け。
- （図書館利用の促進、学習規律の徹底、生活習慣の改善 など）



年度初めに再検討した取組について、内容を整理したホワイトボードの写真を配ります。同じものをみんなの目に触れる印刷室にも掲示しますので、見てくださいね。



年度初めに、良いスタートがきれるようにするために

- 年度内に！**
- 児童生徒の「現状」について、**数値とともに具体的な姿**で説明できるようにしておく。
 - 「達成目標」の**数値に込めた思いや目指す姿に込めた願い**を説明できるようにしておく。
 - 「重点的取組」のスケジュールを設定するなど、**取組の見通し**を立てておく。

- 新年度に！**
- 新任者・転任者を交えて、アクションプランの内容を**再検討・再確認**する。
 - 「重点的取組」の内容を掲示したり、取組の合言葉を決めたりするなどして、**教職員全員の意識付け**を行う。（例：「自律的学習者の育成」「Nice try!を大切に」など）

APの「知」に関する項目の目標達成に向けて、**教職員が一丸となって、課題を解決**することが大切です。学力向上担当者が中心となって、重点的取組を推進しましょう。

